

BCAOアワード2024審査結果

BCAO は、事業継続（BC）に関する表彰を毎年実施しています。今回は19回目となります。

特定非営利活動法人 事業継続推進機構(BCAO)は、日本の事業継続(BC)の普及に資するため、その普及、実践等に貢献した個人・団体を表彰する「BCAO アワード 2024」の受賞者を、この度、下記のとおり決定いたしました。本アワードは 2006 年度に創設され、今回が 19 回目の表彰となります。

5 月 27 日（火）、東京渋谷の東京ウィメンズプラザにて表彰式を行い、多くの方に参考にしていただけるよう、受賞者の皆様に内容についてご発表いただく予定です。

各賞受賞者一覧

【事業継続部門】

賞	受賞者	タイトル
大賞	一般社団法人兵庫県中小企業家同友会 様	阪神淡路大震災を機に、「連携」をキーワードに経営指針と連動して取り組んでいる事業継続
大賞	PACRAFT 株式会社 岩国工場 様	サプライチェーンBCPの実践と普及拡大活動～ナブテスコ全体のBCPを牽引する先進拠点の取り組み～
特別賞 能登半島地震「災害対応特別賞」	AZ-COM 丸和ホールディングス株式会社 様	AZ-COM 丸和グループの能登半島地震における支援活動～平常時における行政連携の強化と社内体制整備の推進～
特別賞 西日本豪雨「災害対応特別賞」	株式会社日の丸タクシー 様	平成 30 年西日本豪雨災害・コロナ禍での対応
優秀実践賞 新型コロナウイルス感染症「災害対応特別賞」	株式会社ミヤハラ 様	BCP の迅速的確な対応と持続可能なサプライチェーンの実現に向けて
優秀実践賞	アフラック生命保険株式会社 様	アフラックの BCM 態勢と危機への対応事例について
優秀実践賞	有限会社山田製作所 様	阪神大震災での体験と教訓から学んだBCPの取り組み

【推薦部門】

賞	受賞者	タイトル
能登半島地震「災害対応特別賞」	松波酒造株式会社 様	地震を乗り越え地域の復興と日本酒の海外発信を目指す
能登半島地震・能登豪雨「災害対応特別賞」	もとやスーパー 様	地震にも負けず、水害にも負けず、唯一無二のスーパーを目指す

(同一賞につきましては、組織名の五十音順にて記載しています)

選考に当たり重視させていただいた点

【事業継続部門】

■大賞

受賞者	選考に当たり重視させていただいた点
一般社団法人兵庫県中小企業家同友会 様	1995年に発生した阪神・淡路大震災により、多くの製造業が事業継続の困難に直面し、下請けの中小企業約30社が危機に陥った際、アドック神戸の前身である同友会の製造部会は、これら中小企業が共同で受注・開発する仕組みを立ち上げた。この事業構造を変え生き残りを図るダイナミックな発想と実行力は事業継続の戦略として先駆的である。その後、同友会は中小企業のため「BCP 連続講座」（全5回）を2022年から開催し、経営指針と連動したBCP策定をサポートした。また、2022年に同友会事務局のBCPを策定し、2023年から岡山同友会とBCを応援しあう「お互い様BC連携」を構築した。このように会員企業のBC推進にリーダーシップを発揮し、同友会事務局のBCの仕組みも確立してきた活動は、会員等への貢献度が高く他主体の参考となるものと高く評価される。
PACRAFT 株式会社 岩国工場 様	食品包装機械の開発・製造・販売を営む同工場は、工場のグループ会社等との連携した工場の事業継続戦略として代替生産体制の構築に努めた。また、2018年からサプライチェーン全体の事業継続力向上のために、BCP啓発セミナーや実践講座を行っている。そしてこれらが、同工場が属するナブテスコグループ全体のBCの代替戦略等の見直し、強化につながった。また、工場の社員のBCの資格取得推進や新入社員教育等の人材育成を熱心に行い、さらに、同工場の調達担当者による取引先企業のBC支援の取り組みが行われたが、これがナブテスコグループの統括事務局主催の「BCPバイヤー養成講座」に発展した。このように、同工場のBC強化の取り組みが、同工場のサプライチェーン、さらにはナブテスコグループ全体のBCを牽引した点が高く評価される。

■特別賞

能登半島地震「災害対応特別賞」

受賞者	選考に当たり重視させていただいた点
AZ-COM 丸和ホールディングス株式会社 様	トラック輸送及び3PL（サードパーティ・ロジスティクス）を手がける同社は、緊急時の企業の物流ニーズを担う「BCP 物流事業」や、同社が組織したAZ-COM丸和・支援ネットワーク参加企業と「連携事業継続力強化計画」の認定を受けるなどの連携、そして、BCを担う人材育成を進めてきた。能登半島地震発生時には、同ネットワーク会員企業との連携を生かし、指定公共機関として物資輸送に大きく貢献した。同ネットワークは、災害時の自治体や企業の多様なニーズに対応するため、異業種企業やNPO法人とも連携している。これらは、相手企業の事業継続のみならず、災害時に自社の食料調達に役立つものや、避難所の衛生管理・運営支援に貢献するものを含むなど、独自の特色がある。

■特別賞

西日本豪雨「災害対応特別賞」

受賞者	選考にあたり重視させていただいた点
株式会社日の丸タクシー 様	岡山県を中心にタクシー・貸切バス等を営む同社は、平成 30 年 7 月豪雨（西日本豪雨）で被災し、多くの経営資源を失いながらも、経営者のリーダーシップにより新規投資と雇用継続を実現した。被災後は、新たに水害 BCP タイムライン作成や、電源対策（太陽光パネル、蓄電施設）等にも積極的に取り組んだ。また、悲劇を繰り返さないために「語り継ぐ」ことを同社の使命とし、真備復興スタディーツアーに主体的に取り組み、「語り部タクシー」の運行を 5 年以上も継続し、「まきび支援学校」と連携した職場体験、SDGs 活動、BCAO 関西地域勉強会での講演も含め、国、自治体、企業等の地域防災および BC への貢献として価値ある活動である。また、風水害等の復旧・復興事例としても評価される。

■優秀実践賞

新型コロナウイルス感染症「災害対応特別賞」

受賞者	選考にあたり重視させていただいた点
株式会社ミヤハラ 様	食品、医療、機械業界のサプライヤーで金属精密部品加工業の同社は、2018 年から BC の取り組みをスタートし、2020 年にはレジリエンス認証を取得するなど、事業継続性の確保と企業のレジリエンス向上に努めている。主要取引先および調達先とのサプライチェーンを意識した BC を心掛け、代替性確保のための平常時の体制整備と、円滑な事業継続を可能にする明確な行動計画策定を行い、さらには取引先企業との合同 BCP 訓練の実施などの取り組みが評価される。また、2020 年新型コロナ初期において自社に感染者が発生した際に、自然災害用の BCP を感染症対応に読み替え、行政、取引先等との適切なコミュニケーションにより難局を乗り越えたことも合わせて評価される。

■優秀実践賞

受賞者	選考にあたり重視させていただいた点
アフラック生命保険株式会社 様	同社は保険会社としての社会的責任を果たすために、経営レベルの戦略的活動として BCM を実行し、「平常時」、「危機時」および「危機収束後」の各フェーズに備えた危機管理態勢を整備・確保している。危機への対応事例では、「新型コロナウイルス感染症問題に対する事業継続・変革計画（Business Continuity and Transformation Plan）」を同感染症拡大時に策定し、事業変革に向けた計画や業務執行態勢を明確化し、機動的な業務運営を実践したことは注目される。また、能登半島地震では、発生当日の被害状況や業務影響等をリモートで確認するなど危機時の基本動作が定着していることが確認された。これらの活動は、事業継続力の強化への実践的な取り組みとして評価される。

■優秀実践賞

受賞者	選考にあたり重視させていただいた点
有限会社山田製作所 様	鉄道用ブレーキ、ドア部品等を製造する同社は、創業者の阪神・淡路大震災経験を契機として、南海トラフ巨大地震を想定したBCの取り組みを開始した。社屋を安全な場所へ移転・集約し、在庫棚の転倒防止など被害抑制を行った。 迅速な避難を可能とするBCP対応行動手順を整備し、社員ひとりひとりに役割を決めた緊急時カードも配布した。また、7年に渡りBCP訓練やワークショップを実施し、全社一丸となって課題の抽出、問題解決のアクション整理を行っている。最近では、代替生産を可能にする新たな拠点の確保にも取り組んでいる。さらに、これらの取り組みを、講演を通じて広く情報発信し、主要な取引先様との信用信頼を築いていることなどがBCの実践として評価される。

【推薦部門】

■能登半島地震「災害対応特別賞」

受賞者	選考にあたり重視させていただいた点
松波酒造株式会社 様	能登半島地震により同社の酒蔵と倉庫が全壊したが、石川県内の酒蔵の呼びかけを受け、『能登の酒を止めるな』クラウドファンディングプロジェクトを実施した。また、石川県酒造組合連合会の協力のもと、小松市、群馬県、愛知県の酒蔵での代替生産やコラボ生産等を行った。これらにより、自社のブランドを止めないだけでなく、能登の酒を止めるなというBCを実践している。さらに、自社のECショップのほか、石川県内の酒飯店や東京の石川県のアンテナショップ、香港の即売会に参加し、新たな販路拡大を行っている。加えて、工場の敷地を活用し、自社の再建とともに地域の復興を視野に入れた取り組みを検討するなど、地域社会の災害対応と復興にも貢献している。

■能登半島地震、能登豪雨「災害対応特別賞」

受賞者	選考にあたり重視させていただいた点
もとやスーパー 様	能登半島地震により店舗は半壊したが、輪島市町野町の唯一のスーパーとして、地震発生日から休まず事業を継続し、輪島市と調整し在庫品を地元の避難所に提供した。社員が二次避難したため家族だけで事業を継続し、支出を最低限に抑えキャッシュフローを回した。さらに、9月の能登豪雨で店舗が水没したが、ボランティアの協力と同業者とのお互い様連携により、2週間後には売場面積を縮小して復旧にこぎつけた。現在は、地域の復興拠点として宿泊場所を提供し、被災者、応援者が集える場所となっている。中小企業が壊滅的な被害にあうと現地復旧で生き残りが難しいなか、既存事業以外を伸ばす事業継続のモデルであり、また、地域の復興を巻き込んだレジリエンス・地域貢献のモデル事例である。

BCAO アワード選考委員会では、2024 年 11 月 20 日（水）～2025 年 2 月 14 日（金）の募集期間に応募があったものについて、次の観点から厳正なる審査を行いました。

◆受賞

- ・事業継続部門：大賞（2 件）、特別賞（2 件）、優秀実践賞（3 件）
- ・対応事例・人物部門：災害対応特別賞（5 件）

◆選考方法、基準等

○事業継続部門：趣旨に記載した表彰対象の内容について

- ・BC の普及に向け社会的に最も影響が大きいと判断されたものを「大賞」
- ・優れた取組みで特に見るべき特徴のあるものを「特別賞」
- ・優秀な BCP の策定・BCM の実施で範となるものを「優秀実践賞」

とします。BC に関わる成果を広く知らしめることを重視するため、公表履歴の多いものをより評価しますが、実践の場合にはこの限りではありません。

○対応事例・人物部門：趣旨に記載した表彰対象の内容について

- ・能登半島地震、能登豪雨、西日本豪雨、新型コロナウイルス感染症等への優れた対応事例を「災害対応特別賞」とします。

【BCAO アワード 2024 授賞式・受賞者の取組み発表プログラム】

◆日時：2025 年 5 月 27 日（火）14 時 00 分～17 時 40 分（予定）

◆場所：東京ウィメンズプラザ 地下 1 階ホール（〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-53-67）

◆内容：

14:00～14:05 「ご挨拶」

丸谷 浩明／特定非営利活動法人事業継続推進機構 理事長

14:05～14:25 「選考説明・受賞者発表」

西川 智／特定非営利活動法人事業継続推進機構 担当副理事長

14:25～14:45 「賞状授与」

丸谷 浩明／特定非営利活動法人事業継続推進機構 理事長

14:45～15:00 「記念撮影」

15:00～17:40 「BCAO アワード 2024 受賞者の取組み発表」

【BCAO アワード 2024 授賞式・受賞者の取組み発表終了後、受賞者を囲んでの親睦会を予定しています。】

◆日時：2023 年 5 月 27 日（火）17:50～19:30（予定）

◆場所：青山 カフェ カルチュラタン（東京都渋谷区神宮前 5-51-8 ラポルト青山 B1）

03-6712-7929 <https://www.quartierlatin.co.jp/>

問合せ先： NPO 法人事業継続推進機構 事務局 細坪（ほそつぼ）、平吾（ひらご）

TEL 03-6321-1240 FAX 03-6661-9191 bc@bcao.jp